



奈々子 report

大山奈々子レポート《発行：日本共産党港北区委員会 樽町1-24-36 ☎045-543-4138 2019年8月

♥うれしいニュースその1♥ **政務活動費指針連絡会**が立ち上がったこと。議員一人に報酬とは別に月に53万円の政務活動費が税金から支出されます。私たちは事務所費や広報費などに使わせていただいています。しかし、一日8万円ものタクシー券や、議会報告を作ったとして印刷所の領収証を偽造し500万円を不正受領した例などをきっかけに、県民により「神奈川県議会の政務活動費をただす会」という会が結成され、1万枚以上の領収書を点検。是正を求める請願が議会運営委員会に寄せられました。領収書に個人名を明記すること、用途をネット上に公開することなど賛成はうちだけでしたが、政務活動費の指針を検討する会議の必要性が他会派からも提案され、連絡会の立ち上げにつながりました！



♥その2♥ **小規模事業者支援推進事業費補助金**県単独予算がつきました。5千万円弱。本県は松沢・黒岩知事と続いて、産業支援の軸足が大企業に移っています。例えば企業誘致。県内雇用や県内発注を要件にすることなく、県内雇用の把握もないままに10億円近い補助金を提供するとは言語道断です。国が税制面でも十分に大企業支援を行っていますので、地方自治体は中小企業支援を行うべきと、求め続けてきました。今年の申しこみですが、来年以降も拡充、獲得できるよう頑張ります。



♥その3♥ **女性活躍推進議員連盟**ができました！女性議員の比率が県議会史上最高になったことをうけ、(でも)党派の違いを越えて、男性も女性幹部職員もメンバーに入った議員連盟が立ち上がり、勉強会など開くこととなります。

「議会かながわ」の味わい方。お手元に「議会かながわ令和元年 第2回定例会」届きましたか？例によって議案の議決姿勢はすべての会派が全○。×をつけたのはわが会派だけでした。反対理由を説明します。

今回は10月消費税増税を想定したさまざまな手数料条例議案が多かったのも、消費税増税に反対する立場と、便乗値上げは慎むべしという考え方から反対の数が多くなりました。あと一つ**県政調査と称する議員派遣**です。問題はこの費用が政務活動費とは別に、議会費から支出されること。行きたいなら自費か、政務活動費の範囲内で行くべきだと、この仕組みの廃止を議長に申し入れています。

県民の声である陳情請願に対する姿勢は◆安全安心の保育を充実する県の役割発揮を求める請願◆若い人も高齢者も安心できる年金制度の確立を国に求める陳情◆中学校給食を実現するための県の補助制度を求める陳情◆プラスチックごみゼロをめざす取り組みについての陳情◆種子法の復活を国に求める陳情⇒すべて賛成は共産党のみ。選挙で実現を訴えていたはずの課題や、国では野党共同提案をしているはずの課題が否決されるのは謎です。給食の制度は、市長会町村会の願いでもあります。実現まで諦めません。

さて、みなさん、**議員の姿勢**を見るときに、どう考えているか、どこを視察したか、何をとりあげたか、よりも、当局側に**何を求めたかが重要**です。**県民要望に対する賛否の姿勢**も非常に重要ですのでご注目ください。さて、原稿を書いたから**カジノ**の問題が急浮上しました！カジノそのものの問題はもちろん、林市長の市民意見を聞かずに推進を決める独断的な市政運営も大問題です。撤回を求めます。県知事もカジノ推進の立場です。議会ですっかり県民の安寧な暮らしと健康を守るよう追及します。